

2年学年だよ

金沢市立浅野川中学校
令和7年11月10日号

『生と性の学習会 ～大人に近づく日々～』を終えて

10月29日(水) 5・6限に星の子助産院の坂谷理恵子先生をお迎えして性教育講演会を行いました。中学2年生という時期は、身体的に成熟に向かい、異性への意識も高まっています。2年生のみなさんには、性について正しい知識を身につけ、坂谷先生からお話を聞いて考えたことや体験して感じたことを「生命・人権の尊重」、「責任と思いやりのある行動の選択」につなげてほしいと思います。



～ みなさんの感想より ～

中学生になって性についていろいろな考え方を持つようになり、複雑な気持ちでしたが、この講演を聴いて、性は新しい命をつくり、命はどれくらい大切なことなのか、深く考えさせられました。また、赤ちゃん抱っこ体験や命の誕生の瞬間を見て、自分たちの命は決して簡単につくられたものではないし、自分の親が苦勞して生んでくれたからこそあるものだと思感することができました。

大人になっていくには、体だけでなく心の成長も大切だとわかった。「性」という字から受ける印象が人によって違うことを知り、自分の感情だけで行動せず、お互いのことを気遣いながら接することが大切だと思った。赤ちゃんがおなかの中にいるときの五感の状態を初めて知った。愛やLoveの本当の意味を学んで、好きと愛はちがうということを理解できた。

「性」の捉え方がなんとなく分かったと感じました。性に関わることは生きることや、未来につながることに必要であることが分かりました。女性の出産の大変さが分かりました。男性は黙って隣でサポートすることしかできないと考えると少し悔しいと感じました。

性についての情報は大事な「命」の情報だと知った。「命」の情報だから誰にでも発信するものではないけど、お互いに相手のことを知りたいと思ったら、自分のことをしっかり話すのも大切なんだと知ることができた。

お腹の中に 3 kgの命があるとかめっちゃ責任を感じられるし、重いのにそれに耐えて最終的には陣痛がくるとか聞いて、改めて母親って凄いなと思った。最初は「性」についていい印象はあまりなくて、興味すらなかったけど、「性」は恥ずかしいとかそういうものじゃなくて、自分にとって凄く大切に、時には命を守るものだと知った。今回の話を聞いて、大変な母親もそうだけど、それを支えた父親にも感謝したいと思った。



生や性の漢字にはいろいろな意味があってその中でも命や生活などの意味としても捉えることができるものだということを学ぶことができた。また、村田さんや小林さんたちが体験しているのを見て、女性は出産前や出産するときには痛くてしんどいけど頑張って赤ん坊を産むのだと改めて知れたし、もしそうなっている人がいるなら、できるかぎりのことをやっていきたいと感じることができた。

講演を聴いて「性」とは大切なことで「生」にもつながると感じた。赤ちゃんはただ生まれるだけだと思っていたけれど、生まれるときには、たくさんの力と努力が必要で、がんばって力をふりしぼって生まれるのだと思った。体のすみずみが「心」であるから、暴力や傷つける言葉などを言わず、尊敬することが大切だと感じた。

今まで自分のことについてちゃんと考えたことはなかったけど、今回の講演を聴いて、もっと自分が自分のことを大切にしないといけないんだなと感じました。親からもらった大切な命をどうするかは自分次第だし、自分の行動を改めていきたいと思いました。

